

チームオレンジに関する岡山市、北九州市の取組みについて

1 岡山市と北九州市の高齢化の状況

	岡山市	北九州市
人口（人）	696,280	916,003
高齢者人口（人）	188,939	288,927
高齢化率（%）	27.1	31.5
認知症高齢者数（人）	2.58万人	4.18万人
認知症高齢者の割合（%）	13.7	14.5

人口：令和6年3月31日現在（住民基本台帳による）

認知症高齢者数：令和4年9月末介護認定データ（岡山市「岡山市保健福祉政策審議会」資料）

2 岡山市と北九州市の認知症支援事業の状況

	岡山市	北九州市
地域包括支援センター	6か所（分室10か所）	24か所
認知症地域支援推進員	8人	3人
配置場所	地域包括ケア推進課2人 地域包括支援センター6人	認知症支援・介護予防センター
うちチームオレンジ コーディネーター	1人 （地域包括ケア推進課）	3人（うち2人は令和6年3月～）
認知症サポーター養成	令和5年度実績	令和5年度実績
講座開催回数	170回	114回
養成数	約5,200人	4,199人
認知症カフェ数	40か所（令和5年7月末）	33か所（令和5年度末）
認知症カフェに対する補助	有（開設・運営補助金、上限3万円）	無
認知症初期集中支援チーム	1か所（委託） 地域包括支援センターに設置	24か所 地域包括支援センターに設置

3 岡山市と北九州市のチームオレンジの状況

		岡山市	北九州市
経緯		令和4年度から「認知症サポーター活動促進事業」としてモデル校区を設定し開始。令和7年度までに各福祉で1つ以上のチームオレンジの活動開始を目標としている。	「令和3年改訂版オレンジプラン」にチームオレンジと同様の取り組み内容について記載。以降搜索模擬訓練の実施等熱心に取り組んでいる地域にはたらきかけを開始。
チームオレンジ数		4 (令和6年5月時点)	1 (令和6年5月時点)
チームオレンジの例	チーム名	まじでかいてき M K あおぞら教室 さくら組	オレンジチームたはら
	開催日	月3回(火曜日)	月2回程度
	チーム員	13人	28人
	場所	認知症サポーターの自宅	田原市民センターなど
	活動内容	地域の認知症を含む高齢者の人たちと工作、朗読、合唱、「あっ晴れ!もも太郎体操」(介護予防体操)等を実施	地域の中学校との合同声掛け訓練実施、地域内の小売店等に対し、認知症サポーター養成講座受講の支援等
	経緯	「あっ晴れ!もも太郎体操」(介護予防体操)の場で出会った仲間からスタート	田原校区社会福祉協議会で小地域福祉活動第二次計画の基本目標に「チームオレンジでゆたかな暮らしを」を設定(令和5年2月)、チームオレンジとして活動開始(令和5年4月)

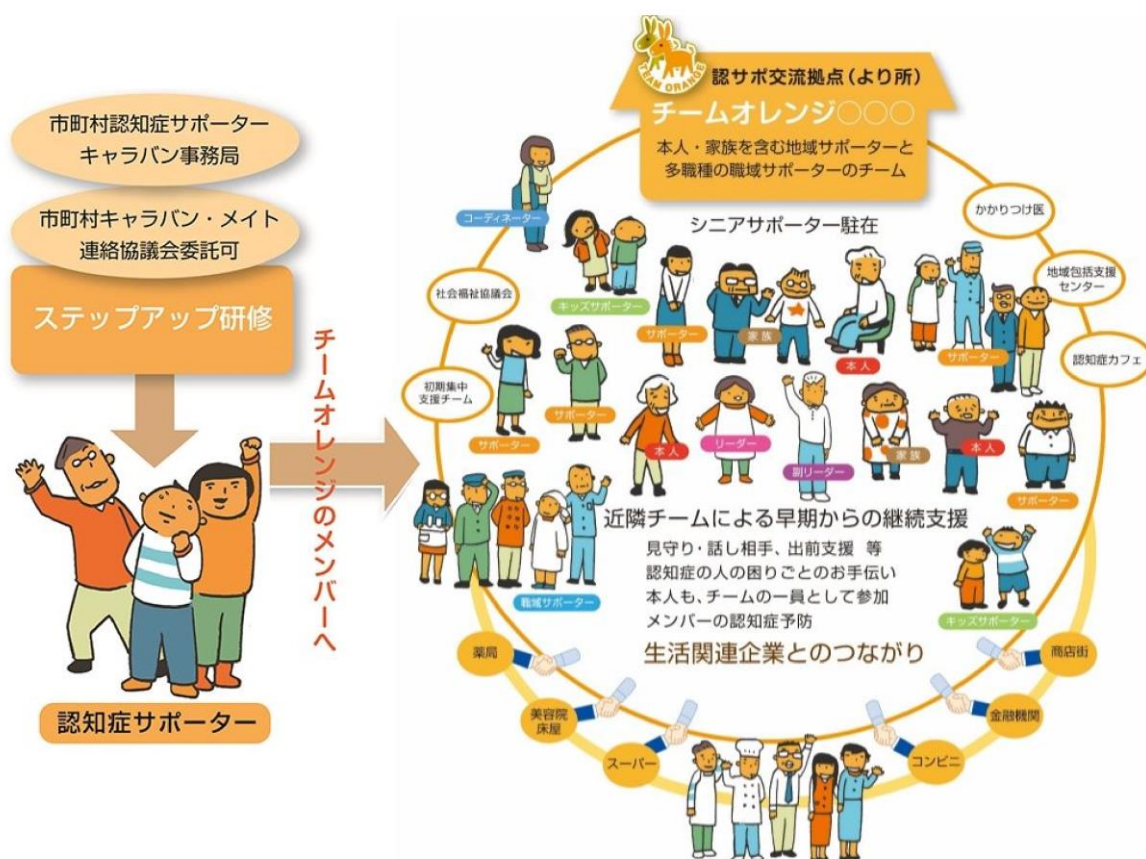
参考 チームオレンジの概要

近隣の認知症サポーターがチームを組み、認知症の人や家族に対する生活面の早期からの支援等を行う取り組み。支援する人、支援される人の関係を超えて支えあい助け合いの共生社会を目指す。

外出支援、見守り・声かけ、話し相手、認知症の人の居宅へ出向く出前支援等を活動内容としている。

国は、「認知症施策推進大綱」（2019年6月）で、2025年までに全市町村に「チームオレンジを整備する」という目標を掲げ、令和2年4月に、チームオレンジの整備を推進していくための中核的な役割を担うコーディネーター（チームオレンジコーディネーター）を養成する研修を創設した。

【チームオレンジイメージ図】



【出所】 認知症サポーターキャラバン HP